

会議録【要点筆記】

会 議 名 称	第1回 学校給食共同調理場整備運営事業者選定審査委員会
開 催 日 時	令和5年6月28日 午後1時30分～午後3時30分
開 催 場 所	米沢市役所 2階 201会議室
出 席 者	委員長 副 市 長 大河原 真樹 委 員 総 務 部 長 神保 朋之 委 員 企画調整部長 遠藤 直樹 委 員 建 設 部 長 吉田 晋平 委 員 教育指導部長 山口 玲子 学識経験者 米沢栄養大学健康栄養学部健康栄養学科講師 井間 眞理子 学識経験者 山形大学工学部建築・デザイン学科教授 三辻 和弥
欠 席 者	なし
事 務 局 出 席 者	森谷教育管理部長 教育総務課：石黒課長、米原補佐、新藤学校整備主査、五十嵐主任 学校教育課：植木課長、島貫補佐、佐藤主査、渡辺主任 株式会社佐藤総合計画（アドバイザリー業務受託者） 東北オフィス代表 飯柴 耕一 P C Mオフィス担当チーフアーキテクト 川窪 繁雄
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 出席者紹介 4 審査委員会について 5 事業概要について 6 議事 (1) 公募書類について（落札者決定基準以外） (2) 落札者決定基準について (3) 審査方法について (4) その他 7 その他 8 閉会
会 議 資 料	次第 配付資料一覧 資料1 審査委員会設置要綱 資料2 事業概要 資料3 実施方針 資料4 実施方針等に関する質問回答・意見等 資料5 入札説明書 資料6 要求水準書 資料7 基本協定書（案）

	資料 8 仮事業契約書（案） 資料 9 落札者決定基準（案） 資料 10 審査方法
会議内容	
【１～３ 省略】 【４ 審査委員会について】 設置要綱第５条第５項の規定により、会議については非公開とする。 また、米沢市会議録の作成に関する指針に基づき、会議録は要点筆記とする。 会議録の公表については、事業者が決定するまでの時限秘とし、１２月に予定している審査講評の公表と合わせて不開示情報を除きホームページに掲載する。 【５ 事業概要について】 事務局からこれまでの経緯及び今後の流れについて説明。 【６ 議事】 （１）公募書類について（落札者決定基準以外） 事務局 （資料３から資料８に基づき説明） 学識経験者 応募者が多かった場合、ヒアリングする応募者については絞るのか。 事務局 絞ることは想定していない。 委員 構成員の制限に、米沢市競争入札参加資格者指名停止規定があるが、登録していない場合の扱いはどうするか。 事務局 内部で検討する。 委員 協力企業とはどんなものか。 事務局 入札参加グループを構成する者を構成員と定義し、ＳＰＣ及び構成員から再委託を受ける者を協力企業と定義している。 委員 入札参加者の参加要件④を説明してほしい。 事務局 Aグループの協力企業は、Bグループの協力企業もできるが、Aグループの構成員は、Bグループの構成員や協力企業になれないということ。 （２）落札者決定基準について 事務局 （資料９に基づき説明） 委員 光熱水費の評価について、実際に実施した段階でのペナルティは考えているか。 事務局 提案があった光熱水費よりも２５％以上高かった年がでてきた場合には、２５％を超える部分の半分については事業者を負担してもらう事を考えている。 委員 この内容はここに明記すべきではないか。業者としてもリスクがある。	

事務局	光熱水費については、入札説明書の方に記載する。
委員	先ほどの内容は量のことか。
事務局	量を提案してもらい、量に市で準備した単価を掛けて光熱水費を算出するという方法を考えている。
学識経験者	光熱水費を下げるためには技術的な提案が出てくる。光熱水費の評価と技術的な提案の評価が重複した評価にならないか。また、項目によって重みが付けられているが、配点が低いところで良い提案がでてきても、最終的な総合評価は伸びないこともあるのではないかと。採点項目が細かく分かれている審査になると、全体的に印象が良かった提案より平均的に提案したところが最終的にはトップになってしまうこともある。個人的にはその他の「地域経済への配慮」や「自然災害」の点数を高くし、良い提案を求めても良いのではないかと思います。
事務局	光熱水費の点数が重複しているのではということについては、省エネ機器を採用すると環境負荷は減るが、応札金額が高くなる。一方で、安かろう悪かろうで応札金額が安くなり点数が伸びることが考えられる。このことを防ぐために、省エネ機器等による環境負荷の低減について評価をするとともに、光熱水費についても評価をすることで、省エネ機器等の採用を促そうと考え、このような評価基準を設けた。その他の項目の点数を高くするというについては、意見をいただきたい。
委員長	その他の項目の配点はなぜこのような基準配点となったのか。
事務局	他市事例を参考としているが、項目ごとの積み上げでは平均化してしまい、全体的にバランスが取れていて、効果が期待できそうな提案を審査に反映できないこともある。その他の項目に重点を置くことで市の特色を持たせられる部分にもなる。
委員長	その他の項目の配点について、意見はないか。
学識経験者	その他の自然災害時の対応についての配点を高くしてはどうか。
委員	地域経済への配慮について、客観的な評価の基準はないということか。
事務局	様式集において、地域経済への配慮として、どのような業務を地域の協力会社に頼めるか、この事業を通じて地域の経済にどういう貢献ができるかを具体的に書くように指示する。
委員	先ほど話があったが、自然災害が多い時代なので、自然災害についての配点は高くても良いのではないかと。
委員長	提案全体の配点も高くしても良いのではないかと。
	落札者決定基準全体について意見はないか。
学識経験者	最低限の機能があれば良いというわけではなく、何かプラスアルファの良いものを作りたいと思う。災害時に安全な建物や、緊急時の避

	難所のような機能等がついてくると、市民から良いものができたと 思ってもらえるのではないかな。災害時緊急用に特化したものだとし の時しか使わなくなる。日常的に使う機能が緊急時にも使えるとい う仕組みを提案してもらえようかなと言があるといいのではない かな。それを高く評価できるような審査基準になるといいのではない かな。
委員長	委員等からもあったように、自然災害の評価点や提案全体の評価点 を高くしてほしい。具体的な配点については事務局で再度検討する こと。
事務局	自然災害については、要求水準書の中で、自然災害等による給食運営 への影響の低減や再稼働の早期化等のためのエネルギーの確保に配 慮し、適切な設備・熱源の導入に努めることと記載しており、災害時 の学校給食の継続、早期の再稼働のための要求水準となっている。 今回意見があった部分についても配点等について再度、事務局で検 討し、報告する。
委員	基礎審査の中で入札予定価格は事前に公表するか。
事務局	そのとおり。
委員	光熱水費の関係だが、イニシャルが安くてランニングが高い環境に 優しくない機器より、環境に優しい省エネ機器を入れるべきと思う が、積極的に省エネ機器を取り入れた提案ができるような配点にし てほしい。
学識経験者	参加資格審査の点数は反映されないのか。
事務局	今回は実績についての点数化はしない。参加資格要件を満たしてい るかどうかの判断となる。
（３）審査方法について	
事務局	（資料１０に基づき説明）
学識経験者	合議制で行う場合、基準配点１つ１つについて協議するのか。
事務局	そのとおり。
委員	審査前に審査委員会で一切打合せをせずに個別に採点するのか、そ れともある程度疑問点を審査委員会の中で、特に専門外のところ について学識経験者の方からも聞きながらなのか。ある程度共通認識 をしたうえであれば、審査委員各々での採点でも良いではないか。
事務局	事前に学識経験者が評価したものを参考として審査委員に見てもら ったうえで評価をしてもらうことを検討している。
委員	そのような方法であれば２番の平均制でも良いのではないかな。
委員	同じく２番の平均制で良いと思う。勉強会で課題の突合せ等をした うえで、審査委員が採点した点数を平均する方法の方が良いのでは ないかな。

委員長 全員 事務局	それでは、2 番の平均制ということで良いか。 異議なし。 落札者決定基準（案）では、定性審査の合計が 6 0 点未満の場合は失格としている。このことについて、どうすべきか議論いただきたい。
学識経験者	要求水準書どおり作ったのに失格になった場合、事業者から不満が出る可能性はないか。要求水準書どおりに作ったのに 0 点はどうなのか。
事務局	6 0 点未満の場合は失格という項目を入れた理由は、応募者が少なく競争性が薄れた場合でも良い提案をもらうため。6 0 点未満の場合は失格という部分を消すか、または 6 0 点未満の部分を 3 0 点未満と変えて最低限でも何か提案を求めるという書き方もある。
学識経験者	場合によっては、落札者を決定しない場合もあるという言い方にするのはどうか。
委員 委員長 全員	あいまいな書き方はしない方が良いのではないか。 6 0 点未満の場合は失格という部分を消すということで良いか。 異議なし。

（４）その他

特になし。

【７ その他】

特になし。

【８ 閉会】